

報道機関各位（おしらせ）

財団法人逸翁美術館
阪急電鉄株式会社

新・逸翁美術館の建設について

逸翁美術館では、1957年の開館以来、阪急電鉄の創業者である小林一三（雅号：逸翁）の旧邸「雅俗山荘」を利用し、小林一三が生前に収集してきた美術品約5千点を展示・公開してまいりました。

しかし、建設から70年が経過し、建物の老朽化が進んでいることから、開館50周年ならびに阪急創立100周年記念事業として、新たに美術館を建設することになりました。

これに伴い、現在の美術館につきましては、2008年4月をもって休館し、収蔵物を移設した上で、新・逸翁美術館として開館いたします。なお、現在の美術館閉館後の「雅俗山荘」につきましては、小林一三の記念館をベースとして検討を進めていく予定です。

新美術館の概要は次のとおりです。

1. 工事着工日

2008年2月（予定）

2. 開発計画概要

所在地	池田市栄本町12-28
敷地面積	約1,870㎡
建築面積	約1,100㎡
延床面積	約2,320㎡
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート構造
建物階数	地上2階、地下1階
構成	展示室、収蔵庫、ホールなど

3. 総事業費

約8億円

4. 今後のスケジュール

2008年4月	休館
2009年3月	竣工（予定）
2009年10月	開館（予定）

今後の事業進捗に伴い、変更になる可能性があります。

以上

【添付資料】新・逸翁美術館 外観イメージパース、新・逸翁美術館 計画地位置図

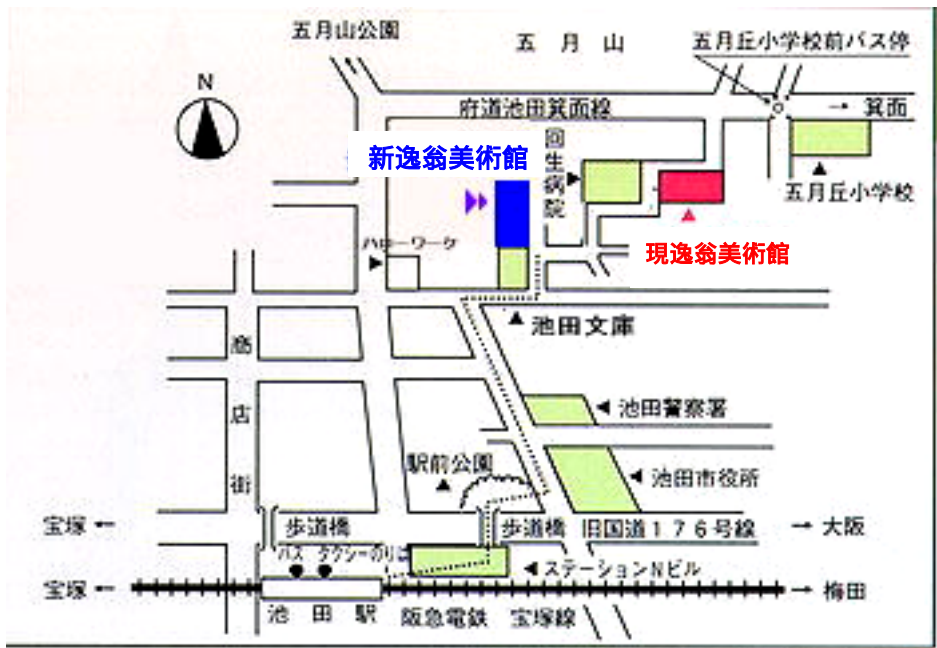
【ニュースリリース配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、池田市政記者クラブ

このニュースリリースに関するお問い合わせ先		
財団法人逸翁美術館		072-751-3865
阪急電鉄株式会社	広報部	06-6373-5092

【添付資料】



新・逸翁美術館 外観イメージパース



新・逸翁美術館 計画地位置図

以上